

2020年4月28日

栃木県知事
福田 富一 殿

〒320-0017 宇都宮市戸祭台 29-17
栃木県保険医協会
会長 長尾 月夫

医療機関でのマスク・消毒液等の不足に関する緊急要望書

貴職におかれましては、県民医療の確保のためご尽力しておられることに敬意を表します。
私たちは、栃木県内の医師・歯科医師815名が加盟する団体で、県民・国民医療の向上に向けて活動しております。

日本国内でのCOVID-19の感染拡大により、マスクが入手できない事態が続いており、医療機関でもマスクや手指等消毒液などが不足しています。当協会では、FAX登録のある会員672名に「マスク等の供給状況緊急アンケート」を実施したところ、短期間のアンケートにも関わらず286名（回収率42%）より回答がありました。

マスクが現在足りない医療機関は医科22%（41件）、歯科12%（12件）、手指等消毒液が足りない医療機関は医科30%（55件）、歯科19%（19件）でした。「現在は足りているが、在庫が不足する」と回答した医療機関と合わせると8割超になることが判明しました。

安心安全の医療を提供するためにはマスクや消毒液等は不可欠です。地域医療を守るためにも医療従事者への感染防止は最も重要です。個人防具全般が不足しており、アンケート結果からもわかるように、「医材の安定供給がなければ診療が続けられない」との医療現場の声は切実です。

COVID-19の感染対策のため、また安心安全の医療提供を行うためにも、引き続き対応していただくよう要望します。

【要望項目】

1. 医療機関に対し、診療に必要なマスクおよび消毒用エタノールを早急に供給すること。
2. 栃木県内の全ての医療機関（医師会、歯科医師会非会員の医療機関を含む）に対して、マスクなどを等しく配布すること。